**６年　「震災復興の願いを実現する政治」　（　５月～６月　　７時間　）**

**(１)小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容(１)ア（イ）（ウ），イ（イ）に基づいて行う

地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち，国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること，政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに，我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

**(２)評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国や地方公共団体の政治の取組を理解している。  ・調べたことを図表や文などにまとめ，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 | ・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，問いを見いだし，国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。  ・国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え，表現している。 | ・我が国の政治の働きについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

（３）知識の構造図

　中心概念

まとめる

地方と国は，被災者の願いを実現するために，連携・協力し合って政治に取り組んでいる。また，他地域や関連機関，世界の国々からの支援を得られるよう，連携協定を結んでいる。　　　　❺

　具体的知識

・外国や国際機関やボランティアなどさまざまな人々が支援活動により被災地の人々を支えている。　　❹

・国は必要な法律を制定したり、特別な予算を立てたりして、被災地への支援を続けている。　　　　　　➌

・市ではライフラインを復旧させる際、他地域の協力を得ながら連携して対応にあたっている。　　　　　➋

・市の復興計画は様々な市民の目線から考えられており、多くの人々の願いを実現しようとするものである。　　　　　　　　❻❼

・普段の当たり前の生活をするためには、ライフラインの安定が必要である。

　　　　　　　　　　　　❶

用語・語句

・開栓、閉栓

・災害対策本部

・連携協定

・復旧、復興

・ライフライン

・ボランディア

・東日本大震災復興基本法

・予算

・復興庁

・震災復興計画

・震災遺構

問題解決的な

学習の過程

いかす

調べる

つかむ

（４）指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 |
| 学習問題をつかむ（１時間） | あの時わたしたちはどのようなことに困ったでしょうか。　　　　　　　　❶  ①当時の新聞記事から震災時の様子について振り返る。  ②震災が発生した後の生活について困ったことについて話し合う。  　電気，ガス，水道などのライフラインが不安定となり，普段の当たり前の暮らしができなくなった。  **学習問題**　　東日本大震災発生後,地方や国ではどのような取組を  したのでしょうか。 | □新聞記事や写真を手掛かりに，当時の自分の生活を想起させる。また，震災における被害を事前に把握しておくなど，子供の心的状況に配慮して学習を進めるようにする。  ☆東日本大震災発生後の様子について意欲的に振り返り，当時の困難な生活について関心を持つ。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・震災発生日から一週間分の新聞の一面（地方紙）  ・店の行列  （写真）  ・当時と今の店の様子（写真） |
| 学習問題について調べる（３時間） | 仙台市ガス局はどのようにしてガスを復旧させたのでしょうか。　　➋  ２  ①大震災発生後の市内のガス関連における被害状況やガス局による復旧活動の実際について調べる。  ②ガスの復旧に携わった機関や人々との連携について話し合う。  　市ガス局は，市民が1日も早くガスを使えるようにするために，他地域の協力を得ながら，連携して対応にあたった。 | □各家庭におけるガス栓が開栓されるまでの経緯を具体的に調査させ，ガスの復旧活動を身近に捉えさせる。  □市の防災協定一覧や防災対策の関連図を読み取らせ，ガスの他に水等においても，対策本部を中心として多くの機関が連携して対応にあたっていることをつかませる。  ☆ガスの復旧への取組について必要な情報を複数の資料から読み取っている。《知識・技能》 | ・仙台市ガス局の復旧への取組（紙面）  ・市の防災協定一覧  （紙面）  ・防災対策の関連図  （図） |
| 復旧・復興に向けて国はどのような支援をしたのでしょうか。　　　　　　➌  ①復旧・復興に向けた国の取組について，法律と予算の面から調査する。  ②税金のしくみについて調査する。  　国は必要な法律を制定したり特別な予算を立てたりして，被災地への支援を続けている。 | □国が立てる予算と税金との関係に着目させ，自分の消費行動や家族（親）による納税が大きく関わっていることに気付かせる。  ☆被災地の復旧・復興への取組には，国の政治の働きが大きく関係していることを理解している。　　《知識・技能》 | ・復旧に向けた政治の働き　　（図）  ・わたしたちのくらしと税金  （パンフレット） |
|  | 復興に向けて，他にもどのような人々がどんな取組みをしたのでしょうか。❹  ①海外からの支援の取組について，物資と人的支援の両面から調査する。  ②日本各地から集まったボランティアの人々の活動について調査する。  　復興に向けて国際機関やボランティアなど，さまざまな支援活動により被災地の人を支えている。 | □外国からの支援が多くあったことは，これまでの日本の国際社会での貢献があったからである。なぜ国際社会からの支援があったのかを考えさせる。  ☆国際社会や国内との地域と被災地の関係について理解している。　　《知識・技能》 | ・アメリカ軍による支援活動の様子（写真）  ・ボランティアに関する当時の新聞記事  （紙面） |
| 学習問題をまとめる（１時間） | 東日本大震災後,地方や国ではどのような取組をしたのでしょうか。　❺  ①大震災後の地方と国の取組について整理し，図を用いてまとめる。  ②地方や国以外の支援活動について調べる。  　地方と国は，被災者の願いを実現するために，連携・協力し合って政治に取り組んでいる。また，他地域や関連機関，世界の国々からの支援を得られるように，連携協定を結んでいる。 | □自分が立てた学習問題に対する予想を検証させるとともに，地方と国それぞれの役割や関連性が分かるようにノートにまとめさせる。  ☆地方や国の大震災後の復旧・復興への取組について，調査から得た情報を根拠として考え，図や言葉で表現している。《思考・判断・表現》 | ・これまで使用した資料  ・海外からの支援について  （外務省HP）  ・芸能人による慰問活動（写真） |
| いかす（２時間） | 仙台市の震災復興計画について調べよう。　　　　　　　　　　　　❻  ①市の震災復興計画の存在を知り，その内容について調べる。  ②10の取組の内，最も大事だと思うプロジェクトを一つ選び，その理由を考える。  　市の震災復興計画には10のプロジェクトがあり，自分は◯番のプロジェクトが最も大事だと考える。 | □10のプロジェクトがあることを捉えさせた後，自分が一番大事だと考えるプロジェクトを選択させ，理由を考えさせる。  ☆10のプロジェクトから最も大事なものを一つ選び，その理由を自分の言葉で表現している。《思考・判断・表現》 | ・仙台市震災復興計画の概要版（パンフレット） |
| 自分が最も大事だと思うプロジェクトはどれでしょうか。　　　　 ❼  ①自分の考えを基に話し合う。  ②目線を変えてプロジェクトを見直す。  　市の震災復興計画は，様々な市民の目線から考えられており，多くの人々の願いを実現しようとするものである。 | □必要に応じて，話合いの形態を工夫する。（ペア→全体等）  □様々な人の目線（もし，自分がお年寄りだったら…等）を提示し，プロジェクトを見直すきっかけを与える。  ☆話合いに進んで参加し，市の復興への取組について関心を高める。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・仙台市震災復興計画の概要版（パンフレット）  ・海沿いで生活する人（写真）  ・お年寄りの方（写真） |

（５）ワークシート

・調査している人の作業服に着目させ，他地域からたくさんの応援をもらったことに気付かせたい。

・調査や開栓の情報をメディアと連携して市民に伝えていたことも理解させたい。

＜情報＞

・テレビ・ラジオ・HP

**＜１閉栓＞**

**・３／１２～**

**・家庭訪問**

**＜４開栓＞**

**・３／２４に復旧第１号**

**＜３修繕＞**

**・ガス管などを修理**

**＜２調査＞**

**・１５５ブロックで調査**

**・たくさんの応援隊（全国から）**

ガスが復旧されるまでの流れ

　◎どんな取組をして復旧されたのか書き込みましょう。

＜写真＞

＜写真＞

＜写真＞

＜写真＞